

北陸の教員9名が2月23日(土)に金沢市で 学校で行った国際理解授業の成果を報告

～教員のグローバル化！JICAの海外研修で得た体験を子供達に還元！～

23日(土)13時からJICA北陸 教師海外研修 報告会を開催

JICA北陸では、学校教員の方々向けに、開発途上国での実体験型研修プログラムを通し、学んだ内容を直接教育現場に還元して頂く「教師海外研修」を毎年実施しています。子供達が社会に出る時、身近な地域で外国の方達が住んだり働いたりすることが今よりもっと増えています。“国際理解”は自分に関係ないことではなく、知っておくべき身に付けておくべき一般教養となりつつあります。本研修は子供達の世界、視野、可能性を世界に広げるために、まずは教育現場にいる先生たちがグローバルな知識や経験を積むことを目的にしています。

今年度、北陸から9名の教諭(石川県6名、富山県3名)が、昨年夏に大洋州にあるサモアで11日間の研修に参加。帰国後、9月から12月にかけて、研修に参加した先生方は所属校で、国際理解授業を実践しました。子供達は授業を通し、異文化を知るだけでなく、世界にはどのような課題や問題が存在しているのか、自分はグローバルな社会でどのように振舞い行動していくのか、大人以上にとても深く鋭く考え、驚く様な速さで視野を広げていきました。

本研修の報告会を今週23日(土)13時より金沢市のリファーレ(オフィス棟)8階大会議室で開催します。なぜ今グローバル教育が必要なのか、など、授業を実践した教員へ直接質問頂くことも可能です。報告会の詳細や9名の教諭の所属先につきましては、別紙の「教師海外研修報告会チラシ」をご参照ください。また、JICA北陸は2019年度もサモアでの研修を予定しており、以下のウェブサイトで紹介しております。5月10日(金)応募書類必着で、北陸3県の学校の先生方を対象に参加者を募集しています。

【2019年度 教師海外研修 参加者募集】

<https://www.jica.go.jp/hokuriku/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html>

この機会に北陸3県の多くの方々に学校現場でのグローバル教育について報告を聞いていただき、特に学校関係者の皆様には本報告を参考に今後ご自身でも国際理解教育を子供達に向けて実践いただきたく、貴メディアによる事前の告知・ご案内、当日の取材につきまして、宜しくお願ひ致します。

別紙：教師海外研修報告会チラシ(2枚)

【本件に関する問い合わせ先】
(独)国際協力機構 北陸センター(JICA 北陸)
武田 さやか(開発教育支援事業 担当)
TEL:076-233-5931 E-MAIL: Taketa.Sayaka@jica.go.jp